

学校図書館だより 7月号



文京区立第八中学校 学校図書館



学校図書館支援員：稲川 すみれ 令和5年7月発行

第八中学校のみなさん、こんにちは。いよいよ夏の到来です。夏休みを楽しみにしている方も多いと思います。学校図書館では夏休み期間中、本の貸出数が最大5冊に増えます。沢山本を借りてくださいね。

七夕イベントは7月7日まで開催中です。本を借りると短冊に願いを書けます。願いごとを書き、学校図書館へ足を運んでみませんか。



～学校図書館利用案内～

<開館時間>

- ・昼休み 12時50～13時10分
- ・放課後 (水曜日を除く)
そうじ終了後～16時30分

<貸出冊数>

- ・1人3冊まで

<貸出期間>

- ・2週間

○探している本や調べたいことがある時は、
学校図書館支援員に聞いてください。



季節のコラム



夏の風物詩といえば、夜空を彩る打ち上げ花火があります。

打ち上げ花火は、花火玉といわれる丸い玉の導火線に火をつけて打ち上げる豪快な花火です。花火玉は大から小まで様々あり、大きいもので直径約90cm、重さ約300kg近くにもなります。花火玉の中には「星」と呼ばれる火薬が沢山入っており、それぞれが赤や青、緑や黄といった、鮮やかな光の筋となって空に現れます。

みなさんはどんな花火が好きですか。

【参考】『花火の図鑑』泉谷玄作/著 ポプラ社 (57-い)

イベントのお知らせ

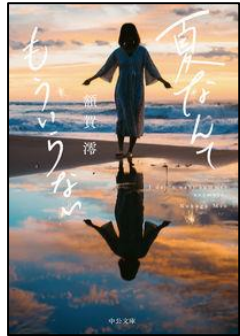
七夕イベント

- ・本を借りると、短冊に願いごとを書くことができます。願い事を書いたら笹につけてください。
- ・支援員の稲川か、図書委員さんに声をかけてもらえるとよりスムーズです。7月7日(金)まで!



特集展示 夏休みにおすすめの本

夏休みには読書感想文があります。気になった本を学校図書館からいくつか借りてみてください。



『夏なんてもういらない』

額賀滯/著 中央公論新社

〔913-ぬ〕

夏に開かれる伝統行事「潮祭」を見に、思いを寄せる優弥とともに、潮見島に行くことになった深冬。

優弥の出身地でもあるその島では、13歳から17歳くらいまでの、島から一度も出たことのない女性が神女として選ばれる。この伝統を巡り、深冬たちはそれぞれの葛藤と向き合うことになる。



『もうひとつの夏休み。』

前川麻子/著 芦原すなお/著 草野たき/著

香坂直/著 藤堂絆/著 沢村鐵/著

ジャイブ〔913-な〕

みなさんは、夏休みは誰と何をしますか。6人の作家が描く、夏休みがテーマのアンソロジー。胸につかえた思いや、切ない気持ち。友達のため、親のため、自分の未来のため——。心に響くお話ばかりです。



『夏期限定トロピカルパフェ事件』

米澤穂信/著

東京創元社

〔913-よ〕



『サマーウォーズ』

岩井恭平/著

KADOKAWA

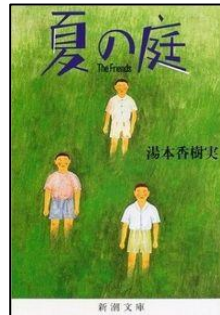
〔913-い〕



『NHK ダーウィンが来た! 昆虫スゴすぎクイズ図鑑』

NHK出版

〔486-え〕



『夏の庭』

湯本香樹実/著

新潮社

〔913-ゆ〕

予告…宇宙の神秘

9月12日は「宇宙の日」です。

知られざる宇宙のナゾがここに…。お楽しみに!



『宇宙ってそういうこと

だったのか! 図鑑』

縣秀彦/監修 アスコム〔44-う〕

宇宙好きの方必見です。難しい内容でも、身近なもので例えてわかりやすく説明してくれます。イラストや写真も豊富です。宇宙のクイズや、やってみようのコーナーなど、体験的に楽しみながら実感できます。

1人はもちろん、家族や友達と一緒に、おもしろおかしい宇宙の神秘に触れてみるのはいかがですか。